

看護政策論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 嶋森 好子 教授		
担当講座・学科(分野)	看護学部		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

看護制度と看護サービスの関連について学び、看護政策の基本的な考え方を学修する。そして、制度が創られてきた政策過程を学ぶことにより政策的思考を身に付ける。具体的には、これまでの看護学実習等を通して認識した看護サービスの課題を明確にし、その課題と関連する制度の理解を深め、そして制度を変革する過程で必要となる政治、行政および団体などの社会の力動関係を学修する。そして課題解決策について、社会的制約や妥協点を考え、実現可能な提言をまとめることにより、制度を変革するための基本的な考え方を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

身近な看護サービスの課題について制度との関連を説明することができる。また、政策過程事例を通して政策形成の基本と関係する政治、行政、団体の役割について説明できる。そして課題を解決するプロセスを踏まえた政策提案を考えることを通して、新たな課題に対応する能力を獲得する。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：ディプロマ・ポリシー：3, 4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 必要な課題を自ら発見できる。
2. 重要性・必要性に応じて自分に必要な課題の優先順位を決定できる。
3. 課題の解決に向けた対応方法を自らの力だけでなく他者と協力して見出すことができる。
4. 保健・医療・福祉における協働の目的と意義、看護職に求められる役割を説明できる。
5. 社会の動向や特性を説明できる。
6. 看護職を規定する法律や関係法規（保健師助産師看護師法、看護師等の人材の確保の促進に関する法律等）について説明できる。
7. 看護の動向とそれに関わる制度や法規（特定行為、訪問看護、資格認定制度等）について理解できる。

・ 授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/16	木	2	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>看護サービスの課題と制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な看護の問題と制度を関連づけることができる <p>【事前学修】 実習等を通して感じた看護サービスの課題をレポートにまとめ提出する</p> <p>【事後学修】 看護の課題と制度について課題レポート(1)を作成する</p>
4/16	木	3	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>看護政策と制度の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政策過程事例を通して政策形成の基本が理解できる <p>【事前学修】 看護政策の基本について教科書 3～19 ページを学修する</p> <p>【事後学修】 教科書 66～85 ページを学修する</p>
4/17	金	1	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>政策に関するアクター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政策に関するアクターの役割が説明できる <p>【事前学修】 アクターについて教科書 20～34 ページを学修する</p>

4/17	金	2	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>看護の政策過程とアクター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例を通して政策過程とそれに係るアクターの役割が探索できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 98～129 ページを学修する <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例の政策過程とアクターの行動を次回までに調べる
4/30	木	2	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>看護制度の課題と政策展開</p> <p>【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護制度の課題における政策過程とアクターが理解できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べた内容をグループ内で共有し理解を深める
4/30	木	3	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>課題解決のプロセスと提案</p> <p>【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を解決するためのプロセスを踏まえた提案を考えることができる
4/30	木	4	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>政策提案と実現可能性</p> <p>【プレゼンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政策提案を発表し、実現可能性について考えることができる <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策過程、アクターの役割について復習する

5/1	金	1	看護学部	野村 陽子 非常勤講師	<p>まとめ</p> <p>【討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護制度の課題を考えることができる <p>【事後学修】</p> <p>各自の看護の課題についてこれまでの学修成果を記述した上で、政策過程およびアクターに関する課題レポート(2)を作成する</p>
-----	---	---	------	-------------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護職者のための政策過程入門	見藤隆子ほか	日本看護協会 出版会	2017
参	私たちの拠りどころ保健師助産師 看護師法	田村やよひ	日本看護協会 出版会	2008
推	政治的思考	杉田 敦	岩波書店	2013
推	日本の医療-制度と政策-	島崎謙治	東京大学出版 会	2013
推	看護制度と政策	野村陽子	法政大学出版 会	2015
推	看護の灯を高くかかげて	金子 光	医学書院	1994

・成績評価方法

課題レポート(1)20%、課題レポート(2)50%、グループワークの取り組み 30% 計 100%とする。

*グループワークの取り組み等は、参加状況、政策提案の内容、プレゼンテーションにより評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている事前事後学修内容を確認し、教科書や配布資料および参考書を読み、授業に臨むこと。授業は集中講義としていることから、講義開始前に該当する事前学修は終了すること。

事前事後学修に要する時間は平均 60 分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業中に課すレポート(1)および(2)の提出は、Webclass を活用し、採点後に適宜コメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（ELMO PX-10）	1	講義用資料投影